

第7次医療計画における 「南河内二次医療圏の現状」について

令和4年 11月 30日

令和4年度 南河内精神医療懇話会

①第7次医療計画 【第7次医療計画における精神医療の施策の方向】

◆目的（めざす方向）

精神疾患のある人が、住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを送ることができる社会の実現

◆目標

- 多様な精神疾患に対応することができる医療機関の増加
- 精神科救急医療システムの受入れまでの時間の短縮
- 夜間・休日合併症システムにおける合併症支援病院の増加
- 依存症診療・回復プログラム実施医療機関の増加
- 難治性精神疾患の治療可能医療機関の増加
- 認知症治療に携わる人材の増加
- 長期入院精神障がい者の減少と早期退院率の上昇

参考： 2021年度 第7次大阪府医療計画

①第7次医療計画 【南河内二次医療圏の取組み】

＜中間年までの取組＞

医療機関関係者等による「（仮）南河内精神医療懇話会」を2018年度に立ち上げ、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けて情報共有、意見交換等を行います。

＜中間評価年までの取組内容と結果（2018年度～2021年度）＞

2018年度より南河内精神医療懇話会を開催し、2019年度は妊産婦のメンタルヘルス、精神科合併症の身体科と精神科の連携体制、依存症支援について意見交換しました。2021年度は、圏域の医療機関者等による意見交換を行い圏域内の精神疾患の問題を抽出し、諸問題に応じた医療連携体制の構築を図りました。

参考：2021年度 第7次大阪府医療計画 中間評価 南河内二次医療圏

②南河内二次医療圏における医療体制

【精神科医療体制・都道府県連携拠点医療機関】

< R4.4月現在 >

【精神科医療体制】 大阪府こころの健康総合センター調べ

精神科医療を行う病院数（病床あり）	7
精神科医療を行う病院数（病床なし）	2
精神科病床数	1,577
精神科医療を行う診療所数	21

【都道府県連携拠点医療機関】

所在地	診療機関名	統合失調症①	統合失調症②	認知症①	認知症②	児童・思春期	うつ	アルコール	薬物	ギャンブル	てんかん	高次脳	摂食	災害	成人発達	妊産婦
富田林市	一般財団法人成研会 結のぞみ病院	○				中1～		○	○	○		○		○		
松原市	(医)敬寿会吉村病院			○												
羽曳野市	(医)丹比荘 丹比荘病院	○														
大阪狭山市	近畿大学病院	○	○		○	6～	○								○	○
	(医)六三会大阪さやま病院			○												

参考：大阪府地域保健課作成資料

②南河内二次医療圏における医療体制 【地域連携拠点医療機関】 <R4.4月現在>

- 二次医療圏ごとに定めており、疾患ごとに医療機関のもつ役割を明確化している。

診療機関名	統合失調症	認知症	思春期・児童・うつ	PTSD	アルコール	薬物	ギャンブル	てんかん	高次脳①	高次脳②	高次脳③	高次脳④	高次脳⑤	摂食	災害	成人発達	妊産婦
(医)丹比荘 丹比荘病院	○	○	4~	○	○								○		○	○	○
(医)敬寿会 吉村病院	○	○															○
(医)恒昭会 青葉丘病院	○	○												○			
(医)六三会 大阪さやま病院	○	○															
一般財団法人成研会 結のぞみ病院	○	○	中1~	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
近畿大学病院			1~													○	○
(医)隆帆会 梶本こころのクリニック	○		6~						○	○			○			○	○
(医)宏彩会 李クリニック									○	○	○		○		○	○	○
(医)信輝曾 今岡クリニック	○		12~										○	○		○	○
(医)横敏会 よこうちクリニック	○	○	6~					○					○	○		○	○
半田あつたかクリニック		○													○		
溝口医院 (R4~「児童思春期」追加)		○														○	○

二次医療圏	統合失調症	認知症	うつ
豊能	11	10	0
三島	13	5	3
北河内	11	7	4
中河内	5	4	1
南河内	8	8	2
堺市	8	5	2
泉州	19	15	5
大阪市	27	14	14
大阪府	102	68	31

参考：大阪府地域保健課作成資料

②南河内二次医療圏における医療体制 【難治性精神疾患の治療医療機関数】 <R4.4月現在>

◇統合失調症

<①クロザピンによる治療が可能な医療機関数 ②修正電気けいれん療法（mECT）が可能な医療機関数>

二次医療圏	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大阪府
①医療機関数	4	3	4	3	3	2	2	4	25
②医療機関数	2	2	3	1	1	2	2	4	17

◇うつ <修正電気けいれん療法（mECT）が可能な医療機関数>

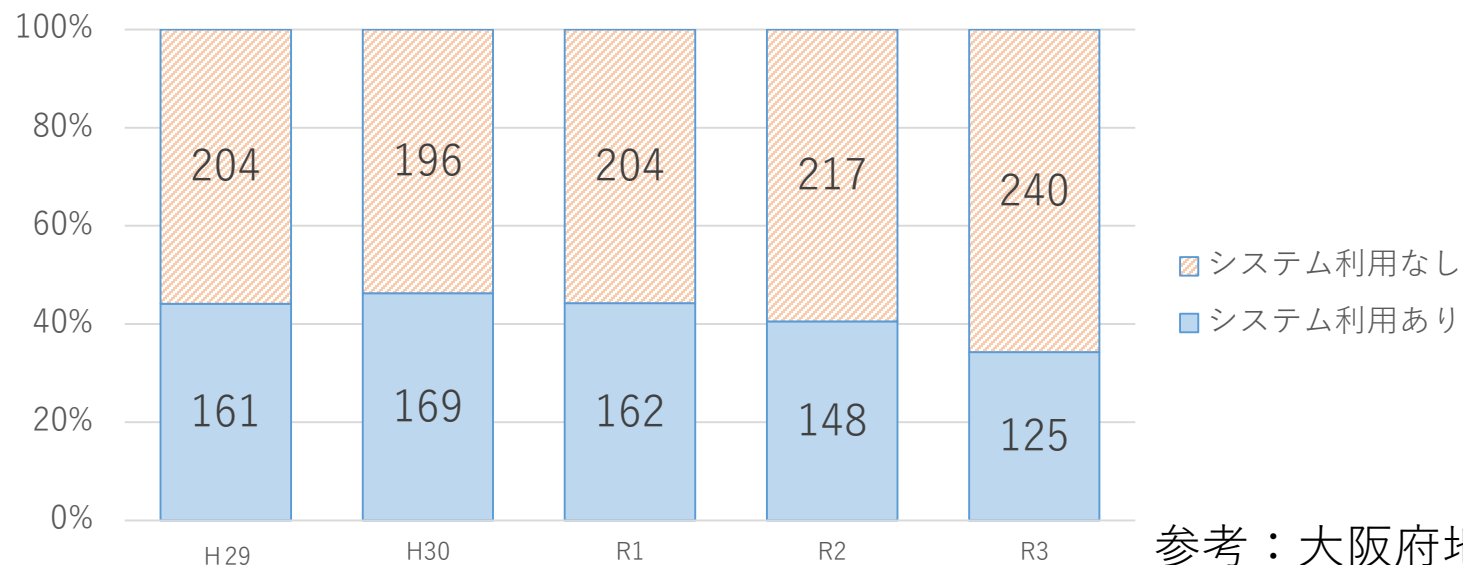
二次医療圏	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大阪府
医療機関数	2	2	2	1	1	2	2	4	16

参考：大阪府地域保健課作成資料

③南河内二次医療圏における精神医療の現状 【夜間・休日合併症システム（1）】

(1) 日数別システム利用件数

	H29	H30	R1	R2	R3
総日数	365	365	366	365	365
システム利用あり	161	169	162	148	125
システム利用なし	204	196	204	217	240

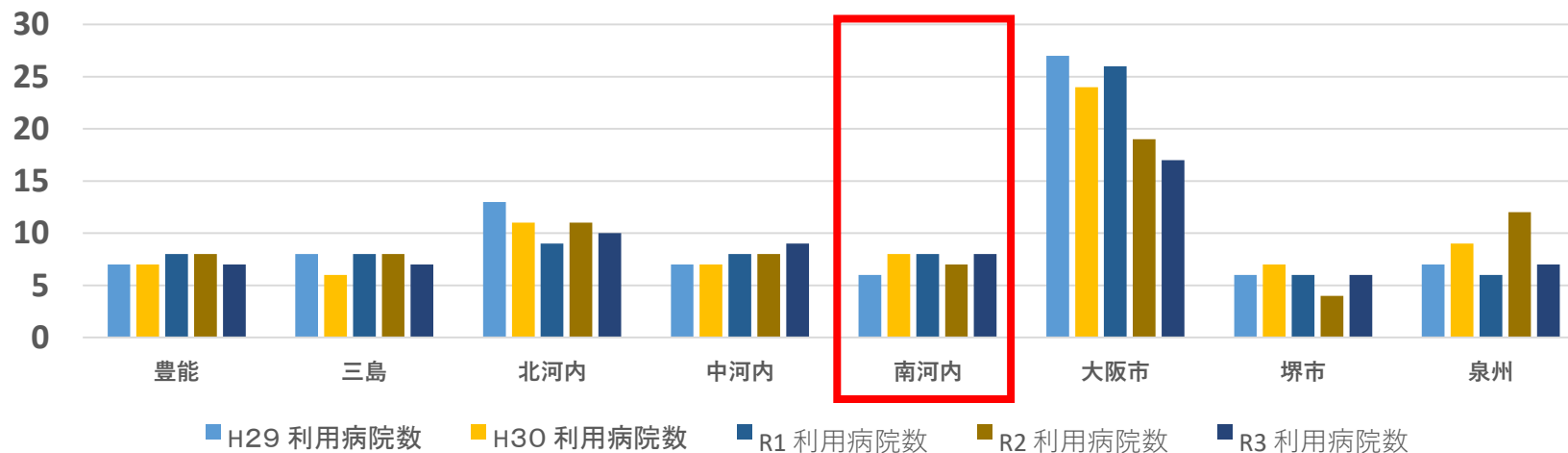


参考：大阪府地域保健課作成資料

③南河内二次医療圏における精神医療の現状 【夜間・休日合併症システム（2）】

（2）二次救急医療機関等のシステム利用医療機関数（二次医療圏別）

	H28			H29			H30			R1			R2			R3		
	利用病院数	圏域病院数	利用割合	利用病院数	圏域病院数	利用割合	利用病院数	圏域病院数	利用割合	利用病院数	圏域病院数	利用割合	利用病院数	圏域病院数	利用割合	利用病院数	圏域病院数	利用割合
豊能	8	22	36%	7	21	33%	7	21	33%	8	21	38%	8	21	38%	7	21	33%
三島	5	19	26%	8	19	42%	6	19	32%	8	19	42%	8	19	42%	7	19	37%
北河内	10	38	26%	13	37	35%	11	37	30%	9	36	25%	11	36	31%	10	38	26%
中河内	7	18	39%	7	17	41%	7	17	41%	8	17	47%	8	17	47%	9	17	53%
南河内	4	20	20%	6	20	30%	8	19	42%	8	19	42%	7	19	37%	8	20	40%
大阪市	31	93	33%	27	94	29%	24	93	26%	26	93	28%	19	93	20%	17	93	18%
堺市	6	20	30%	6	20	30%	7	21	33%	6	21	29%	4	21	19%	6	21	29%
泉州	8	24	33%	7	23	30%	9	24	38%	6	24	25%	12	24	50%	7	23	30%
総計	79	254	31%	81	251	32%	79	251	31%	79	250	32%	77	250	31%	71	252	28%



「利用病院数」：非救急病院等を除く
「圏域病院数」：年度末時点の救急告示病院数から精神科病院を除いた数

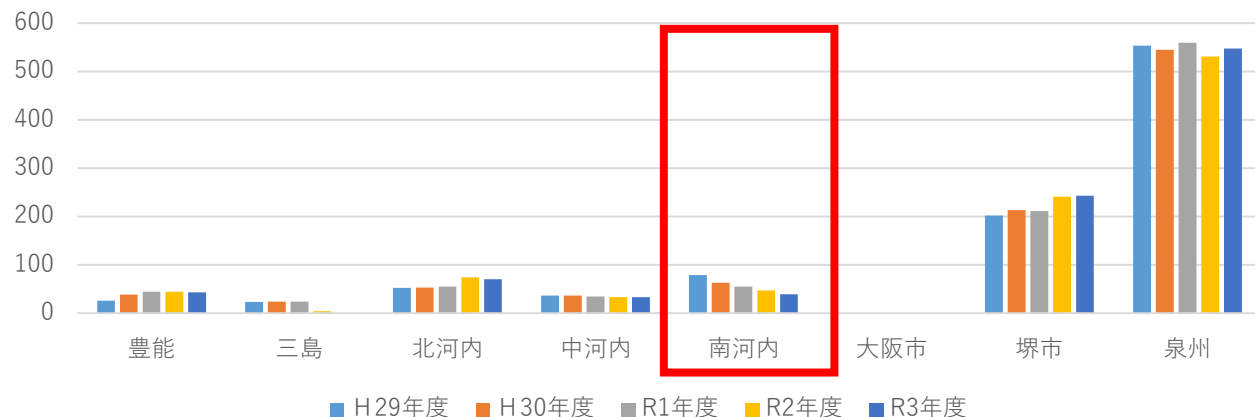
参考：大阪府地域保健課作成資料

③南河内二次医療圏における精神医療の現状 【夜間・休日合併症システム（3）】

（3）合併症支援病院対応状況

【輪番回数（二次医療圏別）】（単位：回）

圏域	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
豊能 (3)	26	38	44	44	43
三島 (1)	23	24	24	4	0
北河内 (2)	52	53	55	74	70
中河内 (2)	36	36	34	33	33
南河内 (4→3)	79	63	55	47	39
大阪市 (0)	0	0	0	0	0
堺市 (2)	202	213	211	241	243
泉州 (5)	554	545	560	531	548
総計 (19→18)	972	972	983	974	976



【システム対応件数（医療機関別）】（単位：回）

圏域	病院名	H29	H30	R1	R2	R3
豊能	さわ病院	2	6	9	5	4
	小曽根病院	1	6	6	5	2
	榎坂病院	1	2	2	1	1
三島	藍野花園病院	4	7	13	1	0
北河内	ねや川サナトリウム	7	1	2	6	3
	東香里病院	11	6	10	6	5
中河内	小阪病院	2	3	1	1	2
	国分病院	3	5	5	5	3
南河内	丹比荘病院	2	2	5	2	1
	結のぞみ病院	13	7	5	5	3
	青葉丘病院	2	1	1	4	0
	大阪さやま病院	0	2	4	1	0
堺	阪南病院	61	80	63	67	66
	浅香山病院	3	2	3	3	2
泉州	浜寺病院	13	12	13	10	5
	久米田病院	37	45	44	30	25
	水間病院	6	5	5	5	3
	木島病院	62	69	47	34	39
	七山病院	14	16	12	13	24
合計	244	277	250	204	188	

参考：大阪府地域保健課作成資料

③南河内二次医療圏における精神医療の現状 【夜間・休日合併症システム（４）】

(4) 精神科病院受診（外来・入院）となった際の搬送元と搬送先（二次医療圏別）

n=109

令和3年度		搬送先病院（合併症支援病院）								隣接区域への搬送		
		豊能 (合併症支援 病院 3)	三島 (1)	北河内 (2)	中河内 (2)	南河内 (4)	大阪市 (0)	堺 (2)	泉州 (5)	総計	搬送数	割合
搬送元病院	豊能(利用病院数7)	2	0	1	0	1	0	5	0	9	2	22%
	三島 (7)	0	0	1	0	0	0	2	7	10	1	10%
	北河内 (10)	1	0	1	1	1	0	4	4	12	2	17%
	中河内 (9)	0	0	3	1	1	0	5	4	14	5	36%
	大阪市 (18)	1	0	1	0	1	0	7	6	16	10	63%
	南河内 (8)	0	0	0	0	0	0	7	12	19	19	100%
	堺市 (6)	0	0	0	0	1	0	5	8	14	14	100%
	泉州 (7)	0	0	0	0	0	0	3	12	15	15	100%
総計		4	0	7	2	5	0	38	53	109	68	62%

*網掛けは隣接区域

参考：大阪府地域保健課作成資料

③南河内二次医療圏における精神医療の現状

【南河内二次医療圏の医療施設における在院患者（1）】

【南河内二次医療圏の医療施設における在院患者の入院期間別の割合】<R3.6.30現在>

	南河内医療圏		大阪府	
	人数	割合	人数	割合
1年未満	466	37.8%	6,191	40.6%
1年以上5年未満	376	30.5%	4,881	32.0%
5年以上10年未満	176	14.3%	1,912	12.5%
10年以上	216	17.5%	2,269	14.9%
1年以上入院の患者（再掲）	768	62.2%	9,062	59.4%

参考：令和3年度精神科在院患者調査報告書

③南河内二次医療圏における精神医療の現状

【南河内二次医療圏の医療施設における在院患者（2）】

【南河内二次医療圏の医療施設における在院患者の疾患名区分別の割合】<R3.6.30現在>

疾患名	南河内医療圏域		大阪府	
	人数	割合	人数	割合
症状性を含む器質性精神障害（F0）	240	19.4%	4,347	28.5%
アルツハイマー病の認知症を含む器質性精神障害（F00）	113	9.2%	2,116	13.9%
血管性認知症を含む器質性精神障害（F01）	11	0.9%	336	2.2%
アルツハイマー病の認知症・血管性認知症以外の、 症状性を含む器質性精神障害（F02-F09）	116	9.4%	1,895	12.4%
精神作用物質使用による精神及び行動の障害（F1）	57	4.6%	830	5.4%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害（F2）	709	57.5%	7,586	49.7%
気分（感情）障害（F3）	145	11.8%	1,529	10.0%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（F4）	28	2.3%	248	1.6%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群（F5）	5	0.4%	49	0.3%
成人のパーソナリティ及び行動の障害（F6）	8	0.6%	50	0.3%
精神遅滞〔知的障害〕（F7）	15	1.2%	281	1.8%
心理的発達の障害（F8）	7	0.6%	124	0.8%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害（F9）	3	0.2%	40	0.3%
てんかん（症状性を含む器質性障害(F0)に属さないもの）	3	0.2%	58	0.4%
その他	14	1.1%	111	0.7%
総計	1,234	100.0%	15,253	100.0%

参考：令和3年度精神科在院患者調査報告書